総合科学技術会議第１５回宇宙開発利用専門調査会資料

資料１５－６

警察活動における衛星利用

平成１５年１１月２７日

警　　察　　庁

目　　次

- 通信衛星利用について
- 情報収集衛星利用について

通信衛星利用について

○現　状

大規模な事故や災害等に際して、現場の状況を把握して的確な指示を行うため、現場で撮影した各種映像等の伝送に通信衛星を利用している。

衛星名	運用者	設備名	利用目的
スーパーバードA	宇宙通信（株）	固定衛星設備 衛星通信車 可搬衛星設備	災害･事故等の発生時における現場の映像情報の伝送等
N－STAR	NTT	N－STAR端末	応急通信用
インマルサット	国際移動衛星機構	ｲﾝﾏﾙｻｯﾄ端末	応急通信用

← 可搬衛星設備

衛星通信車→

○問題点

- 電話･映像伝送で伝搬遅延時間がある。
- アンテナの大きさ等から、風速２０m/s以上時の運用に支障がある。（衛星通信車、可搬衛星装置）
- 荒天時（雨）の降雨減衰等による影響がある。

固定衛星設備

○要　望

- 音声通話時に違和感を感じないようなシステム実現。
- 端末（アンテナ等）の小型化を可能とするシステム実現。
- 降雨減衰又はフェージングによる影響への対策。
- 一人で容易に持ち運びが可能であって、動画映像の送信が可能な端末設備の実現。
- 簡易な追尾により移動体通信が可能なシステム実現。
- 利用料金が地上系ネットワークと同等レベルにならないか。

情報収集衛星利用について

○現　状

情報収集衛星による画像情報の利用に向け設備等の整備を推進中である。

衛星名	運用者	利用目的
情報収集衛星	内閣衛星情報センター	情報収集衛星画像を利用した危機管理等